

平成28年度 施策評価シート

基本目標	安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	460 生涯にわたり、健康に暮らせるしくみをつくる
施策	461 区民一人ひとりの健康づくりを支援する
施策の目標	区民の健康を支えるための基盤である保健医療の人的体制、施設、しくみが充実し、さまざまな健康課題に適切に対応できる保健・医療の環境が整っています。

1 基本計画における成果指標

指標名	単位	目標値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
区民健康診査 特定健診の受診率	%	60	47.8	48	48.8	49.3	
区民健康診査 特定保健指導の受診率	%	60	17.6	10.5	13.8	9.3	

2 1の「成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度

3 目標と現状(実績)についての分析

指標の推移・施策の課題や問題点について記述
<p>国民健康保険は、国民皆保険制度の基盤として医療保険制度の中核を担い、区民の医療の確保と健康の保持増進に大きな役割を果たしている。一方で、国民健康保険の運営は、急速な高齢化などによる医療費の増加、経済の低迷や雇用情勢の悪化が続く中で中高年層、低所得者、失業者の多くを被保険者に抱えるなど、以前にも増して厳しい状況となっている。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、平成20年度から、40歳から74歳までの被保険者を対象として、生活習慣病予防に特化した特定健診・特定保健指導の実施が義務付けられており、受診率の向上に取り組んでいる。</p>

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性（選択肢に を付ける）
(1) 優先的に資源投入を図る。
(2) 現状維持とする。
(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】
墨田区は保険者として、区民の健康保持と医療の確保ため、国民健康保険事業を適宜適切に運営していく責務があり、引き続き、被保険者が安心して医療が受けられるよう、制度の安定的な運営に取り組んでいく
【今後の具体的な方針】
国民健康保険事業を安定的に運営していくため、保険料収納率の向上・歳入確保を図ることはもとより、医療費適正化の取組を積極的に行うことで歳出を抑制するなど、保険財政の安定化を推進していくことが求められる。一方、国においては医療制度改革や財政運営の広域化が検討されており、その動向を十分注視していく必要がある

事務事業名	墨田区国民健康保険夏季保養施設事業		所管課・係	国保年金課
施策	461	区民一人ひとりの健康づくりを支援する	連絡先	03-5608-6120
予算書名称	夏季保養施設開設経費		執行実績報告書ページ	

1 事業の概要

夏季の間、近隣の温泉、保養地等の宿泊施設を借上げ、「海の家」「山の家」として国民健康保険被保険者へ斡旋する。また、後期高齢者医療制度の加入者についても、国保被保険者と同一条件で斡旋する。	事業開始年度	海：54年度、山：58年度
	終了予定年度	平成27年度終了

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか						
墨田区の国民健康保険被保険者及び後期高齢者医療制度に加入している区民	に対して					
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)						
夏季の一定期間、関東近郊の温泉・保養施設等の宿泊施設を借上げ、保養所として低料金で斡旋	を実施したことで					
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか						
墨田区国民健康保険の被保険者及び後期高齢者医療制度の加入者の健康増進につなげる	状態にする。					
目的を達成するための指標						
種類	指標名(指標の説明)	単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	「海の家」「山の家」利用人数	人	目標値	1400	1400	1400
			実績値	1,333	1,173	1,252
成果指標 (目的に対する指標)	「海の家」「山の家」利用部屋数	%	目標値	100	100	100
			実績値	79	77	78
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)						
夏季保養施設の利用者のうち、墨田区国民健康保険の被保険者が占める割合は極めて低く、かつ、利用者の固定化等が見られることから墨田区国民健康保険全体にかかる事業としての意義は低い状況であった。						

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) *歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	保健事業費	項	保健事業費	目	保健衛生普及費	
27年度 歳出予算額	8,219,000	27年度 歳出決算額	7,862,995	27年度 執行率	95.7%	28年度 歳出 予算額	0
27財源内訳 (決算額)	国庫支出金 無	都支出金 無	その他 無	一般財源 無			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称				収入額	
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの							
27年度 実績額		28年度 予算額		対象			
開始 年度		根拠法令					
算定基準				補助率			

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	低い	前年度評価	低い
利用者は、被保険者の2%程度であり、かつ固定化している。				
(2)事業の有効性	評価結果	低い	前年度評価	低い
健康増進に対する費用対効果が低い。				
(3)事業の効率性	評価結果	非効率	前年度評価	非効率
妥当な受益者負担を設定しているが、利用者のニーズが多様化しており、応えられない。現状での外部委託は困難である。				
(4)現状と課題				

5 総合評価(課長評価)

評価結果	廃止	判定理由	事業の必要性、有効性、効率性を鑑み当該事業を廃止する。
今後の方向性 (見直しの視点)	データヘルス計画に基づいた、被保険者にとって効果的な保健事業を行う。		
平成27年度区 議会の質問状 況	時期	無	
	要旨	無	